

モーツァルト・サロン会報 NO.83

第83回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ
「上敷領藍子&富永愛子デュオリサイタル」特集
2023 年 8 月 27 日号



圧巻の 3 番 4 楽章

ご挨拶

早くも 9 月の声が聞こえ、もう少しで来るであろう秋が待ち遠しいこの頃ですが、皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて、8 月 27 日(日)14:00 よりモーツァルト・サロンでは「上敷領藍子&富永愛子デュオリサイタル」が開かれました。当日は日中の暑さに比べて夕方が涼しくなり、素敵なコンサートの帰り道は、一層心地よいものになりました。

会場には、ブラームスのヴァイオリン・ソナタの全曲演奏という濃厚なプログラムを楽しみに、コアなお客様が見えました。

お二人にこのコンサートに対する思いをプログラムの挨拶文に綴って頂きましたので、その一部を紹介致します。

「リハーサルを通して、愛子さんの奏でる旋律には、音楽に対する愛のメッセージが次から次へと伝わってきます。心の底から音楽を愛して奏でる人にしか出せないその音に感動を覚えました。今日は二人でブラームスを演奏できる喜びを、皆様と共有できることが本当にうれしいです」。(上敷領藍子)

「とある楽章で藍子さんの奏でる旋律があまりに美しく、涙が溢れ出しそうになりました。音楽人生でやりたいことの一つが叶うこの時間を、ブラームスの音楽世界を、皆さんと一緒に楽しみたいと思います」。(富永愛子)

お二人の思いが溢れるコンサートの幕開けは、「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第 1 番 ト長調 雨の歌 作品 78」。優しさに溢れた旋律に会場は包まれました。

後半の始まりに富永さんのトークがありました。「私は「ラヴ、」の方の愛子です。一緒に演奏してほしいと言われた時は嬉しかったです。そして、最初に 1 番のソナタが決まったのですが、それに何を組み合わせるかは、色々と浮かんできたのですが、いつの間にかブラームス全曲だけになり、濃厚な感じになりました。今年はブラームス生誕 190 年のメモリアル年で、その年に人生で初めてブラームスのヴァイオリン・ソナタ 3 曲を演奏するという、心に残る時間になるなと思い、そこに皆さんが立ち会って頂けるのを嬉しく思います。一日がかりで何度かリハーサルをしましたが、藍子さんはオーケストラや室内楽をやっていたらっしゃるので、私とはまた違った視点でテンポや標語の意味、塩梅や度合いがあり、お互いに相談して歩み寄って意見交換をしながらの時は濃いもので、今回自分の音楽観やブラームス像が広がり、豊かになりました」。そして、第 2 番のソナタが演奏され、演奏後に上敷領さんは次のように話されました。「今弾いていて、リハーサルの時とは違う感覚が舞い降りてきました。思っていたよりも 2 番の深さを感じています。リハーサルの時は 1 番の方が圧倒的に大曲で、エネルギーがいるし、2 番をその後に弾くと心がほぐれるような感覚だったのですが、今弾いていると 1 番と同じくらいの重厚感がこの曲にはあったということを目の当たりに感じました。愛子さんどうですか」「その通りなんです、この後待ってる 3 番を考えると…」(笑)「そうですね。3 番は 1, 2 番と違ってかなり勢いのある曲なので、キャラクターが相当変わってきます。皆様にとっては音楽的な流れや速さが印象に残ってくるのではないかと思います。皆様が全曲を通して、どんな風に感じられて、また 3 番がどんな風に聴こえてくるのかなと私たちも興味深いですし、今から起こることが楽しみでワクワクしています。もし、何か感じられることがあれば是非この後でお伝えください」。

大曲の第 3 番は正に圧巻の演奏でした。万雷の拍手に応じて再登場した上敷領さんは富永さんに「いい舞台でしたね。二人でまた、どこかでブラームスを 3 曲弾くことができたらいいですね」と語り掛け、「アンコールにブラームスの作曲したスケルツォを演奏します」と話しました。そして「FAE ソナタ 3 楽章(ブラームスは 3 楽章のみを作曲)」が演奏されました。

お客様は大満足で、口々に感動のお言葉を述べてお帰りになりました。こうして素敵なお客様と演奏者の皆様と共に創り上げた濃厚な時はお開きになりました。

アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

1.上敷領藍子さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪歌声のようにひびく高い音がとてもきれいでした。私もがんばろうと思いました。ピアノ演奏者の富永さんとも息がぴったりで尊敬しました。
- ♪高い音がとても素敵で、音楽の世界に引き込まれました。ヴァイオリンで音を出すだけでも、大変なのに、もう、すごいと思いました。
- ♪音色も表現もブラームスの音楽と理想的に調和していたと思います。ヴァイオリンの主体では必ずしもないヴァイオリンとピアノのためのソナタとして作曲されていることを重んじた、ストイックな音楽づくりがすばらしかったです。
- ♪ブラームス「雨の歌」は第1楽章しか聞いたことがなかったので、通して1～3楽章まで聴けてよかった。市川市文化会館のコンサートまた来てくださいね！！あたたかいブラームスの調べよかったです。2番イ長調とてもよかったです。
- ♪濃厚なプログラムでした。
- ♪現在、雨の歌を練習中で、間近で演奏を聴けて、とても良かったです。また、是非ブラームス・ソナタ全曲演奏会を開いていただければと思います。(50代男性、趣味でヴァイオリンをひいています)
- ♪ステキな演奏でした。
- ♪とても感動いたしました。ヴァイオリンのコンサートは初めてだったので、今後参加していきたいと思いました。
- ♪素人の意見で恐縮ですが、記入させていただきます。時間も場所も忘れてしまうような、圧巻の演奏でした。素晴らしい時間をありがとうございました。
- ♪力強い演奏、素晴らしかった。私は3番とアンコールが心に残った。
- ♪とても素敵な演奏でした！！これからも楽しみにしています。
- ♪ブラームスの曲は、モーツァルトやベートーヴェンの曲とは違って、重厚なひびきで、演奏者が3曲を連続で演奏され、すばらしく、今後の活動を期待しております。第1番の出だしは、特に感動しました。
- ♪お疲れさまでした♡そのきゃしゃな身体から、どうしてそんなにエネルギッシュな演奏ができるのー！？長いリハーサルを重ねて、今日をおえてホッとしたと思います♪ゆっくり休んでまた明日ね♡笑 P.S. 2番について同感(笑)
- ♪私にとっても、ブラームスのソナタ3曲を、同じコンサートで聴くのは初めて。これまでにない暑い夏、軽井沢にでも行きたいところですが、別荘もなく、今日の2時間は、暑さを忘れ自分の46～55歳の人生をふり返る機会となりました。ブラームスのアルトラブソディ、2番のシンフォニーを聴きたくなりました。今日はドイツビールを飲み、ドイツを味わう日にします。
- ♪言われました通り、2番も1番同様に重厚でしたね。アンコールは予想通り「F A Eソナタ～スケルツォ」でしたね。



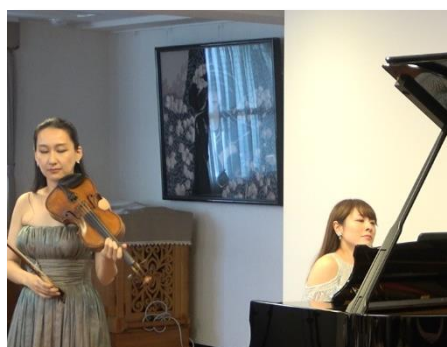
初めのご挨拶



第1番、1楽章の出だし
すぐにお客様の心を捉えました。



「第2部のトークは愛子さんに！」
驚きつつも素敵な笑顔で応えます。



あまりにも美しい
第2番1楽章の出だしのピアノソロ



第2番の最後の音



第3番の前のトーク
「リハーサルの時とは違う感覚が無い降りてきますね」と同意を求める藍子さん

2. 富永愛子さんへの激励メッセージをお願いします。

- ♪ 音の強弱がいきなり変わったりする、聴いているだけでも難しそうなのところもなめらかに弾いていて、私もピアノの練習をがんばろうと思うきっかけや憧れにつながりました。
- ♪ ヴァイオリンとピアノと、両方が盛り上がる場面がとても素敵だと思いました。大好きでした。一番印象に残っています。
- ♪ ブ람スの音楽の構築性が良く分かったという気がします。ピアノでどう発想しどのように持続していくのかという道のりのけわしさにあらためておどろきました。効果を狙うのではなく思弁的な演奏は見事でした。
- ♪ どこまでもついて行きます(笑)
- ♪ しっかりヴァイオリンを支えてらしてすばらしかったです。
- ♪ ピアノがとてもしっかりよく、またお聴きしたいと思わせていただきました。
- ♪ 冒頭上敷領さんが仰っていたように、まるで歌のような、こちらに語りかけてくるような演奏に感動いたしました。これからも応援しております。
- ♪ 美しい心温まる伴奏、素晴らしかった。ヴァイオリンとのデュエット、ピッタリ息が合っていた！
- ♪ 久々に演奏をきけてうれしかったです。(武田君のリサイタル以来です)。とても素敵でした。
- ♪ 第2番の出だしの部分は、何かまり(ボール)が、はずんでいくようで、ユニークなメロディーで、第1番の出だしも素晴らしい演奏でした。3曲の熱演ありがとうございました。
- ♪ 大好きな2人の演奏、どんななるんだろう！？♡と足を運びました。2番は思い出にひたりながら、聴いてたよ♪3番まで大変な曲を弾き切っておつかれ様でした♡またゆっくり会おうね♪
- ♪ 「えん」の会合で、チケットを買って、うかがいました。3曲を、一挙に聴くには、大変なエネルギーがいると思っていましたが、聴きおわると「こんなに時間が早くすぎていくのか」と実感。ブラームスは、人生の喜び、悲しみを作曲という形で表現できた人間だと、あらためて思いました。クララを愛し、コントラルトの若い歌手を愛し、個人的な感情を、時空をこえた芸術作品にできる才能は、うらやましい限り。富永さんの次の演奏をまた聴きたい。
- ♪ なかなか上敷領さんとのかけ合いも良かったですね。

3. お二人へ

- ♪ 今回のデュオリサイタルで室内音楽の素晴らしさを実感できました。全曲ブラームスの曲。とても穏やかでもあり、心豊かな時間をすごすことができました。これからも精進して息の永い演奏者になられることを願っています。



第3番1楽章の出だし
緊張感が漂います。



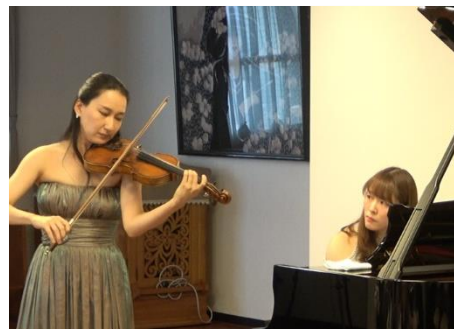
第3番2楽章
ピアノが主役の場面です。



第3番3楽章
暗い情感が漂う



満面の笑顔で花束を。



アンコール：「FAE ソナタ第3楽章 スケルツォ」
正にオールブラームスでした。



音楽人生でやりたいことが
一つ叶いました！

♪:*:~*:♪~*:~*:♪ モーツァルト・サロン 今後のコンサート ♪:*:~*:♪ ♪~*:~*:♪

第 84 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

ゴウ芽里沙ピアノリサイタル チケット発売中!

~天上から芳醇な響きと甘美な楽の音が舞い降ります~

2023 年 10 月 15 日 (日) 14:00 より 入場料: 3,000 円

モーツァルト: ピアノソナタ第 11 番 イ長調 K.331 「トルコ行進曲付き」

シューマン: 「子供の情景」 作品 15

プロコフィエフ: バレエ「ロミオとジュリエット」からの 10 の小品 Op.75

※下記公演は全て 14:00 開演です。

第 85 回 2023 年 12 月 3 日 (日)	佐藤卓史ピアノリサイタル (デビュー 20 周年記念)	入場料: 3,000 円
第 86 回 2024 年 2 月 18 日 (日)	魚谷絵奈ピアノリサイタル	入場料: 3,000 円
第 87 回 2024 年 4 月 14 日 (日)	永井公美子&矢島愛子デュオリサイタル	入場料: 3,000 円
第 88 回 2024 年 6 月 23 日 (日)	北村明日人ピアノリサイタル	入場料: 3,000 円

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み: 記号 10150 番号 70038231

②他の金融機関からのお振込み: 店番 018 普通預金 7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※ クレジットカード決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

♪『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』 1,500 円 (税抜き)



当団が 2016 年に柿沼唯先生に委嘱した
クリスマスの三重奏曲を是非 CD にというお声に応え、
若手の錚々たる演奏家を得て
華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムにいたしました♪

モーツァルト: ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
チャイコフスキー=柿沼唯: 「くるみ割り人形」より花のワルツ
(2016 年委嘱作品)
柿沼 唯: クリスマス・メドレー
(2016 年委嘱作品)

演奏: 上敷領藍子 (Vl) 三井静 (Vc) 佐藤卓史 (Pf)



魚谷絵奈先生

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・水曜日

現役のピアニストとしても活躍される魚谷絵奈先生と青木沙耶花先生による
ワンランク上の個人レッスン。ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

- ・月額制: 10,000 円~ (30 分~/ 年 40 回)
- ・1 レッスン制: 6,000 円~ (60 分~)



青木沙耶花先生

お問い合わせ: 一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5 メトロAIビル5F

TEL: 03-5939-9535 (営業時間: 平日 9:00~17:00)

HP: <http://www.kokusai-ikuei.jp/> (右の QR コードを読み取ってください)

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。

